

各 位

東京都印刷工業組合
理事長 浅野 健

第 5 回支部長会報告書

標記会合について下記のとおりご報告致します。

記

1. 日 時 平成 19 年 12 月 6 日(木) 16:00~17:00
2. 場 所 コニカミノルタ デジタルイメージングスクエア(品川)「セミナールーム」
3. 出席者 (敬称略・順不同)
(支部長) 吉田(千代田)、中村(日本橋)、西山(京橋)、小島(港)、菊地(新宿)、田中(文京)、轟(上野)、横尾(浅草)、有菌(墨田)、島村(江東)、藤井(城南)、松村(山之手)、草間(城西)、森(杉並)、細谷(豊島)、朝比奈(板橋)、長嶺(練馬)、木村(荒川)、長山(足立)、加藤(墨東)、大久保(三多摩) 各支部長
(本 部) 浅野理事長、山岡、矢部、利根川、水上、花崎、工藤、森永各副理事長、武石専務理事
中川、小野、松岡、日比野、奥村、萩原各常務理事、澤、高山各常任監事
(事務局) 生井局長、鴨井次長、中村(徹)、中村(俊)各課長、青木担当
4. 議事の概要
生井局長の司会で開会。花崎副理事長の挨拶後、浅野理事長を議長に議事に入った。

【報告事項】

次の報告事項は事前に内容を連絡してあることから、生井局長が一部補足説明を加えることで、あとは割愛した。

《各種行事関係》

1. 支部新年会開催スケジュール
2. 支部総会の開催時期
3. 竹内参与の東商 1 号議員当選祝賀会の開催結果

《委員会事業関係》

1. 資材動向調査の回収状況(経営革新)
2. 南ブロック主催「勇気と元気が出る集い」の開催結果(小企業変革推進委員会協賛)
3. 都立中央・城北職業能力開発センターのインターンシップ申込状況(締切 12/25)

《その他》

1. 平成 20・21 年度次期常任理事候補者推薦委員会の開催結果(11/21)
2. 日印産連新年交歓会の参加申込み状況
3. 草間城西支部長提供の情報の取り扱い
4. 平成 18 年度工業統計調査への協力
5. 支部配送
6. 今後のスケジュール

【提案事項】

京橋支部主催セミナーの案内（西山京橋支部長）

下記要領で「新春講演会」を開催するので、他支部の組合員の方にもご案内したい。

日 時：平成 20 年 1 月 18 日(金) 17:30～

場 所：日本印刷会館 2 階会議室

会 費：1,000 円

演 題：第 1 部「東京印刷個人情報保護体制認定制度の認定基準について」

第 2 部「裁判員制度について」

第 3 部「緊急地震速報受信システムについて」

【協議事項 1】平成 19 年度事業推進について

1. 「組合員の集い」の開催について

生井局長が、標記集いについて下記要領で開催する旨説明した。

また、理事会での意見を受けて、平成 20 年度以降の開催について、これまでどおり「組合員の集い」を継続するか、「新年会」に戻すか組合運営委員会で検討するに当たり、次回までに支部役員会等で広く意見聴取してもらいたい旨課題提起し、了承された。

日 時：平成 20 年 2 月 15 日(金) 16:30～20:00

会 場：目黒雅叙園（JR 山手線、地下鉄三田線・南北線、東急目黒線「目黒駅」）

概 要：第 1 部 講演会 講師：水上副理事長

第 2 部 懇親会(抽選会、募金)

会 費：6,000 円(前年と同額)

参加目標：500 名(500 社)

周 知：各支部へ組合員数の 3 割増の案内を配付(11/29 送付済)とともに、12 月 7 日頃に東印工組ニュースで全組合員にお知らせ

チケット：参加目安の 1 割増を 11/29 に各支部長宛に送付済

新加入組合員は無料でご招待することで、本部から直接案内

2. 組合員および共済制度加入増強キャンペーンについて

生井局長が、各キャンペーン結果について以下説明した。

(1) 組合員加入増強キャンペーン

支部別の加入状況は別添配付資料のとおりで、期首組合員数から増加したのは京橋、上野、板橋支部、また目標社数に達したのは上野支部のみである。

(2) 共済制度加入増強キャンペーン

5 共済とも加入目標未達であるものの、前年同期比では生命(106.1%)、火災(169.3%)、自動車(122.9%)、せつび(172.5%)となっており、医療共済だけが下回る結果となった。

3. メディアユニバーサルデザインの取り組みについて

生井局長が、全印工連が製作したメディアユニバーサルデザイン(MUD)カレンダーを、各支部へ 12 月初旬に 5 部ずつ配付するので、市区町村の官公需窓口などをはじめとする関係機関に配布して MUD 事業と印刷組合の PR に役立ててほしい旨説明した。

また、山口県工組が製作した MUD の紹介 DVD の放映の後、このまま無修正で支部へ貸出すか、東印工組名に差し替えたものを組合本部で 5 枚購入して、支部へ貸出しすべきかご意見を聞きたいと提議し、以下意見交換が行われた結果、各支部 1 枚配付することで了承された。

(浅野理事長)

MUDの取込みは、ビジネスチャンス、また印刷業界の社会的貢献を対外的にPRすることに繋がり、このDVDを支部役員会等の場で活用してほしい。

(大久保三多摩支部長)

支部によってはいくつかの市区町村をカバー領域としており、自治体等対外的なPRツールとしてDVDを活用するならば、各支部1枚配付してはどうか。

(森永副理事長)

一般の印刷物が色覚が異なる者の目にはどのように見えるかだけでなく、それによって実際の生活にどのような影響が出るか、例えば災害情報等の警告表示の色分けが見づらければ命にも関わる問題が起きることを印刷会社が理解していれば、自治体等にアドバイスが可能となる。MUDを推進することは、色やデザインの仕事をしている者にとっての責務であると認識している。

4.平成20・21年度理事および監事候補者推薦会議の開催について

生井局長が、下記要領で開催する旨説明した。

2月7日(木) 17:30~18:00 第1回理事および監事候補者推薦会議

(1)本部および支部枠の理事・監事定数の決定

(2)推薦方法・推薦締切日の決定

3月19日(水) 14:30~15:00 第2回理事および監事候補者推薦会議

(1)推薦理事・監事候補者の確認、決定

(2)員外理事・員外監事の推薦

【意見交換】

1.組合員への配付物の送付方法について

生井局長が、支部内での配送作業負担を考えると、メール便に機関誌と同封して直接組合員に届けた方が費用面からもあまり変わらず合理的である一方、支部内での配送が組合員とのコミュニケーションの手段の一つとなっているという面もあると前回出された意見を集約した上で、今回各支部の意向を踏まえて結論を出したいと提議づけた。また同時に諸事情を考え合わせると、目安として厚さ1cm未満の小冊子などはメール便に機関誌と同封して組合員に直送し、厚みのあるものやポスターなどについてはこれまでどおり支部配送とすることとしたい旨提案し、了承された。なお、その具体的な形状等による送付方法は、本部の判断によるところとした。

以上のほか、加藤墨東支部長から、全印工連・全青協主催のMUDコンペティションについて、落選者へ今後の勉強のために講評書を交付してほしいと支部員より要望が出ているが、可能かどうか伺いたい旨話があった。

本件を受けて、審査員を努めた有蘭墨田支部長が以下回答した。

200点を超える応募作品があり、10名前後の審査員だけでは賞を決定するだけで精一杯の状況だった。全作品に講評を付けたいが、時間や作業的に厳しく、個別に問合わせてもらえれば、回答することは可能であると思う。

以上